

LINE × AI で始める 顧客対応の自動化

無理なく始められる顧客接点CRMツール。

提供 HIUP 合同会社 × 株式会社アイダイム

顧客接点はあるのに、活かしきれていない

LINE の友だちは増えた。でも、その一人ひとりに向き合う時間は、足りていない。

CASE 01

問い合わせ対応が、特定の人に集中している

担当者が不在だと、返信が止まってしまう。

CASE 02

一斉配信しても、なかなか開封されない

全員に同じ内容では、自分ごとにならない。

CASE 03

予約や定型対応で、本業の時間が削られる

繰り返しの作業に、毎日が追われていく。

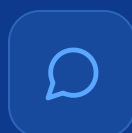
CASE 04

顧客の情報が、あちこちに散らばっている

誰が何を求めているか、すぐに分からない。

なぜ今、LINE × AI なのか

顧客の連絡手段と、AI の実力。ふたつの変化が重なり、今が始めどきになっている。



01

LINE は、生活インフラに

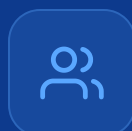
多くの顧客が、毎日ひらく連絡手段。新しいアプリを覚えてもらう必要がない。



02

AI が、実用の水準へ

文脈を理解した自然な応答が、現実的なコストで使えるようになった。



03

人手は、増やせない

限られた人数のまま、対応の質とスピードを保つ工夫が求められている。



04

顧客は、即レスを求める

その場で答えが返る体験が当たり前になり、待たせること自体が機会損失に。

運用が回らない、3つの理由



01

人手が足りない

対応量に人員が追いつかず、後回しが常態化する。問い合わせのたびに、本来の業務が止まる。

エールス（Yells）のソリューション

- AI が一次対応を肩代わり



02

ツールが分断している

CRM・予約・配信がバラバラで、二度手間が生まれる。情報の転記に手間がかかる。

エールス（Yells）のソリューション

- ひとつの管理画面に集約



03

改善が後回しになる

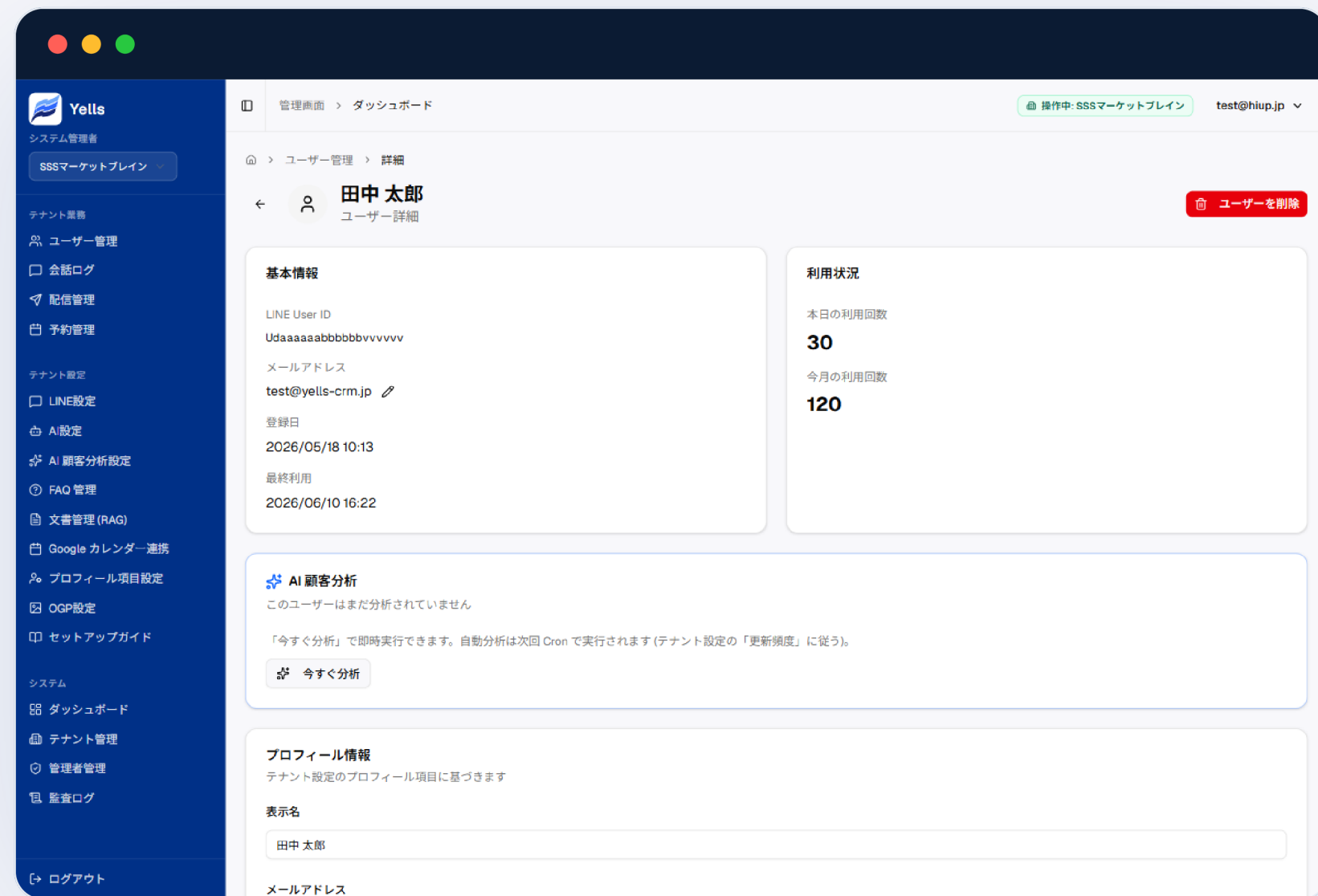
日々の対応に追われ、たまったデータを活かさない。振り返りの時間が取れない。

エールス（Yells）のソリューション

- 蓄積データを AI が可視化

AI が担う、顧客接点の全体像

ひとつの管理画面から、応答・予約・配信・分析までを横断して運用できます。



※ 管理画面イメージ（開発中につき実際の画面とは異なります）

01 AI 自動応答

LINE の問い合わせに、文脈を理解した AI がその場で即応答。

02 FAQ 自動学習

日々の会話から FAQ を自動で蓄積し、回答精度が育っていく。

03 予約管理

LINE 上で予約受付まで完結。Google カレンダーと双方向連携。

04 配信最適化

セグメント配信とリマインダーを、狙ったタイミングで自動化。

05 AI 顧客分析

一人ひとりの状況を AI が要約し、次の打ち手を可視化する。

06 文書検索（RAG）

自社の PDF や FAQ を根拠に、裏付けのある回答を返す。

— FEATURE 01 | 自動応答 & FAQ

問い合わせは、AI が一次対応する

- 文脈を理解した応答

定型文ではなく、会話の流れをくんだ自然な言葉で返す。

- FAQ を自動で学習

日々の会話から知識がたまり、回答の精度が育っていく。

- 24 時間、待たせない

営業時間外でも、一次対応が止まらない。

LINE 公式アカウント

明日の14時、予約できますか？



明日14:00、空きがございます。ご予約を
確定しますか？

お願いします



ご予約を承りました。前日にリマインド
をお送りします。

予約も配信も、仕組みで回す

■ 予約管理

LINE だけで、予約業務をひと通り。

- LINE 上で予約受付まで完結
- Google カレンダーと双方向連携
- 前日の自動リマインドで離脱を防ぐ
- 予約状況はリアルタイムで反映

■ 配信最適化

届けたい人へ、届くかたちで。

- 顧客の状況に合わせたセグメント配信
- 届けたい相手に、届くタイミングで
- 配信のムダ打ちを減らす
- 反応を見ながら内容を調整

■ AI 顧客分析

一人ひとりを、データで理解する。

- 一人ひとりの状況を AI が要約
- 次の打ち手を可視化する
- 対応の質を、属人化させない
- 見込み度の高い顧客に気づける

導入で変わる、運用のかたち

BEFORE | これまで

問い合わせは、手が空いたときに対応

配信は、勘とタイミング頼み

顧客の理解は、担当者の記憶のなか

改善したくても、データが残らない

対応は、いつも後手に回る。

AFTER | Yells 導入後

一次対応は、AI が 24 時間その場で

配信は、顧客の状況に合わせて最適化

顧客像は、AI が要約して可視化

打ち手は、データを見ながら選べる

対応は、止まらず先回りできる。



— PRODUCT | 製品紹介

LINE に、AI の顧客接点を。

Yells は、いまお使いの LINE 公式アカウントに AI の顧客接点エンジンを追加するサービスです。応答・予約・配信・分析を、ひとつの運用にまとめます。

既存アカウントに追加

アカウントを作り直す必要はありません。

専門知識は不要

管理画面から、設定して運用できます。

スモールスタート

小さく始めて、必要に応じて広がられます。

民間・自治体、それぞれの使い方

民間 | 店舗・サービス業

店舗・サービス業の、日々の運用を軽く。

- 予約受付と前日リマインドの自動化
- 問い合わせ・よくある質問の一次対応
- 来店を促すセグメント配信
- リピート顧客の傾向を把握

自治体 | 観光・住民窓口

観光・住民窓口を、LINE で身近に。

- 観光案内の自動応答
- 住民の問い合わせ対応を LINE で
- イベント・手続きの案内配信
- 回遊・利用ログを施策づくりに活用

必要な機能から、無理なく始められる

まずは無料の Free から。成長に合わせて Pro・Enterprise へ。

Free

まず試したい小規模向け。

¥0 /月

含まれるもの

- ✓ AI 応答 (Gemini Flash/Lite)
- ✓ 文書1件・FAQ8件
- ✓ 予約・配信・カレンダー連携
- ✓ 1テナント

おすすめ

Pro

本格運用の標準プラン。

10,000 円 /月

含まれるもの

- ✓ AI 応答 (Claude Sonnet/Haiku)
- ✓ 文書10件・FAQ100件
- ✓ AI 顧客分析 (9観点+拡張)
- ✓ マルチテナント無制限
- ✓ 予約・配信・カレンダー連携

Enterprise

大規模・自治体・要件対応。

個別見積

含まれるもの

- ✓ 文書100件・FAQ500件
- ✓ 大容量 (1GB)・大規模運用
- ✓ 専用要件・個別サポート
- ✓ 監査ログ・データ要件に対応

- 全プラン共通：AIチャット応答・予約システム・Googleカレンダー同期・セグメント配信・顧客管理 無制限
- オンボーディングサポート 50,000円 (ご希望の方のみ)

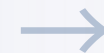
3 ステップで、すぐに始められます

STEP 01

ヒアリング・設計

課題と運用に合わせて、無理のない始め方を一緒に設計します。

- 現状の課題を整理
- 運用フローを設計



STEP 02

LINE 連携・初期設定

公式アカウントと接続し、FAQ や文書を取り込みます。

- 公式アカウントを接続
- FAQ／文書を取り込み



STEP 03

運用開始・改善

効果を見ながら、継続的に最適化していきます。

- 効果を測定
- 継続的にチューニング

まずは、無料相談から。

現状のヒアリングから、御社に合った始め方をご提案します。
「何から手をつければいいか」のご相談だけでも歓迎です。

提供

HIUP 合同会社

RevOps／CX 設計・実装・運用定着支援、顧客接点設計（LINE・CRM・MA・AI）、Web サイト制作・CMS 実装・フロントエンド開発、グラフィック・動画コンテンツ制作。

AD 株式会社アイダイム

SEO・MEO・リスティング・SEM・サイト制作等の Web 集客支援。
サービスブランド「エベレスト SEO」を運営。